

2008年4月18日

各 位

生活クラブ国産なたね協議会
(構成団体：JA横浜町、JAたきかわ、JA全農、(株)全農食品
米澤製油(株)、生活クラブ生協連合会)

拝啓

陽春の候、貴社(組合)益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、
厚くお礼申し上げます。

既にご存知のとおり、平成12年の「大豆なたね交付金暫定措置法」改正により、なたねに対する交付金が廃止されました。しかし同13年から17年にかけて「なたね契約栽培促進対策事業」として予算措置され、さらに18年度からは3ヵ年の期限付きで「高品質なたね産地確立対策事業」として自治体の負担を含めて予算措置がされたところです。この事業の最終年度は平成20年産(2008年)なたねの収穫をまって終了することとなります。これまで政府担当部局に対して、原料なたね生産者・団体、提携製油会社とともにその都度、交付金制度の延長・実施を求めてきたところです。しかし、直近の農水省担当部局へのヒアリングでは、生産者 - 製油会社 - 生活クラブのような個別特定の団体でのなたね油の取扱いに対しては、交付金の措置等はないとの話もありました。

しかしながら、ここ数年にわたる世界的な穀物事情の逼迫、食料資源の燃料化、旱魃等による不作など穀物・油糧作物の供給体制は決して安心できるものではありません。また、今後の人口増加、中国・ブラジル・インドなど新興諸国の経済発展に伴う食生活の変容(食肉消費の増大、飼料穀物需要の増大など)等を考慮すると、国内資源の維持・発展は国家的責務と考える必要があります。昨今の穀物価格の上昇を背景に、食料品の値上げに堪える社会不安が世界各国で起こっています。とくに第三世界の貧困層にとっては生存の危機ともいえる状況です。さらに、こうした事態は一過性のものではなく、構造的な問題となっています。

なたねはサラダ油、てんぷら油の油脂原料として総輸入量220万トンとなっています。一方、国内生産量は作付け800㍏、収穫量900トン(平成18年度農水省)ですが、海外での飼料穀物・油糧種子の需給関係を緩和するためには、国内開発の種子資源とともに今後とも国内での持続的に生産を維持し、さらに拡大すべきと考えます。

こうした観点から、団体署名活動を提案する次第です。生産地・消費地に関わらず広く署名活動と呼びかけ、意思を明確に農水省、総理府に働きかけ、国産なたねの持続的生産とその拡大を図るものです。

各位のご賛同、ご協力をお願いします。

敬具

内閣総理大臣 殿

団体署名呼びかけ人：生活クラブ国産なたね協議会
(構成団体：JA横浜町、JAたきかわ、JA全農、㈱全農
食品、米沢製油㈱、生活クラブ生協連合会)

国産ナタネの生産維持・拡大のための交付金継続と施策充実を求める団体署名

世界的な穀物事情の逼迫、食料資源の燃料化、旱魃等による不作など穀物・油糧作物の供給体制は決して安心できるものではありません。また、今後の人口増加、中国・ブラジル・インドなど新興諸国の経済発展に伴う食生活の変容（食肉消費の増大、飼料穀物需要の増大など）等を考慮すると、国内資源の維持・発展は国家的責務と考える必要があります。昨今の穀物価格の上昇を背景に、食料品の値上げに伴う社会不安が世界各国で起こっています。とくに第三世界の貧困層にとっては生存の危機ともいえる状況です。こうした事態は一過性のものではなく、構造的な問題と考えます。

海外での飼料穀物・油糧種子の需給関係を緩和するためには、国内での種子資源の開発と確保とともに、今後とも国内での持続的に生産を維持し、さらに拡大すべきと考えます。

よって、国産ナタネの生産維持・拡大のための交付金継続と施策充実を求める団体署名を提出します。

2008年 月 日

私どもは上記の主旨に賛同します。

住 所 _____

電話番号 _____

賛同団体名 _____

代表者名 _____ 印

農林水産大臣 殿

団体署名呼びかけ人：生活クラブ国産なたね協議会
(構成団体：JA横浜町、JAたきかわ、JA全農、㈱全農
食品、米沢製油㈱、生活クラブ生協連合会)

国産ナタネの生産維持・拡大のための交付金継続と施策充実を求める団体署名

世界的な穀物事情の逼迫、食料資源の燃料化、旱魃等による不作など穀物・油糧作物の供給体制は決して安心できるものではありません。また、今後の人口増加、中国・ブラジル・インドなど新興諸国の経済発展に伴う食生活の変容（食肉消費の増大、飼料穀物需要の増大など）等を考慮すると、国内資源の維持・発展は国家的責務と考える必要があります。昨今の穀物価格の上昇を背景に、食料品の値上げに伴う社会不安が世界各国で起こっています。とくに第三世界の貧困層にとっては生存の危機ともいえる状況です。こうした事態は一過性のものではなく、構造的な問題と考えます。

海外での飼料穀物・油糧種子の需給関係を緩和するためには、国内での種子資源の開発と確保とともに、今後とも国内での持続的に生産を維持し、さらに拡大すべきと考えます。

よって、国産ナタネの生産維持・拡大のための交付金継続と施策充実を求める団体署名を提出します。

2008年 月 日

私どもは上記の主旨に賛同します。

住 所 _____

電話番号 _____

賛同団体名 _____

代表者名 _____ 印